

平成28年度第2四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

第2四半期の来館者数は前年同期比で13%減となった。

7月、8月の来館者数は、それぞれ過去5年間の同月比で最多であったが、一方で9月の来館者数は台風など悪天候が続いた影響を強く受けて伸び悩んだ。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・点検において異常が発生した場合、速やかに対応し、施設の維持管理に努めた。
- ・環境調査を行い、展示室ウォールケース内の適正な状態を維持するよう努めた。
- ・恒温恒湿機のエラーや冷温水発生機の警報作動、除湿器の異音発生の際に、迅速な対応で施設の維持管理に努めた。

● 施設の運営

- ・施設案内パンフレット、年間展示案内カレンダーを作成し、施設の周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。
- ・来館による取材対応に快く応じ、展示事業やワークショップなどの情報を記事にしてもらい、施設の広報に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・事業計画どおり、企画展・特別展及び普及事業を開催した。
- ・各展示会とも展示解説を実施し、7月～9月の展示解説への参加者は298人だった。
- ・夏休みの時期に合わせて、子ども参加プログラム「木版画の多色摺りに挑戦しよう！」及び「銀箔を貼って、日本画材で描いてみよう！」の実施や夏休み親子鑑賞、親子ワークショップ「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」を実施し、親子で日本画に親しめる機会を提供した。
- ・開架図書コーナーでの図書閲覧者は、7月～9月で556人だった。
- ・初心者向けに日本画ワークショップ「日本画材を使って、団扇に絵を描こう！」及び「隈取りの技法で墨絵を描こう！」を実施し、清方作品を鑑賞するとともに絵を描く楽しさを実感できる機会を設けた。
- ・昨年度初めて指定管理者学芸員が講師を務めて好評を得た市内小中学校の教員研修である「授業力向上研修会」講師を、今年度も引き受け、先生方に日本画に親しんでもらい、今後の小中学生の社会見学などに繋げていけるよう働きかけた。

● その他必要な業務

- ・近隣文化施設とのスタンプラリーを実施するなど、他館との連携に努め美術館のPRを行った。
- ・8月に鎌倉市観光協会主催の鎌倉賛歌ゆかたサービスに協力し、浴衣を着た来館者の観覧料割引を実施し、美術館が身近でない人にも来館してもらう機会を作った。
- ・社会貢献活動として、大学院生のインターン1名、高校生のインターンシップ7名、学芸員実習生3名の受け入れ並びに神奈川県立近代美術館及び鎌倉国宝館でのインターンシップ計16名にレクチャーを行った。
- ・視察対応として、社会教育主事研修生10名の見学を受け入れた。
- ・地下道ギャラリー50を利用して、夏休み子ども参加プログラムで子どもたちが描いた作品の展示を行うとともに美術館の紹介や活動の周知を行った。

4 鎚木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

・作品等の保管状況や展示状況の確認を7月28日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

清方の美人画に関する記述についての調査、アートカードと対話型鑑賞についての調査、『九州日報』掲載の挿絵に関する調査、『續こしかたの記』掲載内容に関する調査、江戸期における女性の着物の調査、大正期の清方の風景画作品リストの作成、かんざしのモチーフの意味に関する調査、樋口一葉に関する調査、大正画壇における南画・浮世絵受容の調査、清方及び門下が手がけた呉服商での図案制作の調査、着物の文様に関する調査、鑑賞と導入の方法に関する調査、『少年界』清方口絵の調査、金鈴社同人による新南画傾向の調査等

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(7月分:8月12日、8月分:9月14日、9月分:10月14日提出)。
・展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
・市広報に展覧会や子ども参加プログラム、日本画ワークショップ等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
・モニター広告を利用し、市役所本庁舎に来た市民等に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

・事故や苦情はなし。

● その他

文化庁補助事業として、北鎌倉にある葉祥明美術館と連携し、8月に第1回目の「鎌倉の美術館 外国人利用のための環境整備事業実行委員会」を開催したほか、北鎌倉・鎌倉雪ノ下地域の文化施設の周遊型観光を提案するためのウェブサイト制作準備やホームページ多言語化の準備を進めた。

6 全体評価

・第2四半期は前年同期比で来館者数が13%減となった。7月、8月は好調で、どちらの月も過去5年間の同月比で最多の来館者数を記録していたが、9月の落ち込みが大きく、前年同期の来館者数を割り込む結果となった。

7月、8月は夏休み期間に合わせて子ども参加プログラムを例年開催しており、その周知が図られつつある。夏休みの課題をするために鎚木作品を鑑賞しに訪れる子どもが多く見受けられるようになったことから、身近にある美術館として、その存在が徐々にではあるが認識されていると考えられる。また、子ども参加プログラムや一般向けの日本画ワークショップの開催回数を増やし、観るだけではない体験型の美術館としての魅力をアピールし続けていることも、夏期の来館者確保に繋がっていると考えられる。一方で、9月は台風や天候不順が続いた影響で鎌倉を訪れる人の数が減少したため、来館者数が伸び悩んだ。観光客の増減で来館者数が大きく左右されないよう、夏休み期間以外でも市民が来館したいと感じるイベントや展示の手法等の検討を今後も継続してほしい。また、文化庁補助事業として北鎌倉・鎌倉雪ノ下地域の周遊型観光を提案するためのウェブサイトの制作準備をしているので、悪天候でも訪れたいような魅力の創出なども検討し、来館促進に繋げてほしい。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。また、定期的な清掃・庭園整備だけでなく、日々職員が清掃や剪定作業を行い環境づくりに努めている姿勢は評価できる。

平成28年度第2四半期判定評価

評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 楠木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%